



●発行日／2012年9月1日
●発行者／東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

第44回剛健旅行 無事終了

高輪カップ開催(卓球、吹奏楽)



雨の鳥居峠をスタート



林道を駆け抜けます



バーコードで通過をチェック



キャベツ畑をバックに



そろってゴール



温かい豚汁がおいしい!

第44回 剛健旅行1,341名参加 完歩率97.6%

剛健旅行前夜からの「九州北部豪雨」は熊本県などを中心に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

天気予報では「これまでに経験したことのないような大雨」というフレーズを何度も耳にしましたが、群馬県には注意報すら発令されず、問題なく実施することができました。きっと生徒諸君の「みんなで歩きたい」という気持ちが天に通じたのでしょう。

結果発表

高校男子トップ10 (40.0km)

- | | | | | | | | |
|-----|----|-----|------------------|-----|----|----|------------------|
| 1位 | 3年 | 10組 | 鶴田 裕也
(3時間9分) | 1位 | 2年 | 7組 | 吉見早友理
(3時間7分) |
| 2位 | 3年 | 5組 | 田島 健太 | 2位 | 2年 | 4組 | 佐藤 彩加 |
| 3位 | 3年 | 6組 | 理島 直貴 | 3位 | 3年 | 2組 | 梅村 実菜 |
| 4位 | 3年 | 7組 | 小田原 拓 | 4位 | 2年 | 2組 | 須田あかり |
| 5位 | 3年 | 4組 | 三上 尚哉 | 5位 | 2年 | 3組 | 沼澤身佳子 |
| 6位 | 3年 | 5組 | 渡邊 貴也 | 6位 | 1年 | 1組 | 石部 愛奈 |
| 7位 | 2年 | 7組 | 佐波 安里 | 7位 | 1年 | 3組 | 加藤 萌 |
| 8位 | 3年 | 7組 | 渡邊 上総 | 8位 | 3年 | 4組 | 吉沼 侑貴 |
| 9位 | 2年 | 7組 | 岩田 昂大 | 9位 | 1年 | 1組 | 吉野 静 |
| 10位 | 3年 | 1組 | 山中 憲 | 10位 | 1年 | 2組 | 清野 啓歩 |

高校女子トップ10 (28.1km)

- | | | | |
|-----|----|----|------------------|
| 1位 | 2年 | 7組 | 吉見早友理
(3時間7分) |
| 2位 | 2年 | 4組 | 佐藤 彩加 |
| 3位 | 3年 | 2組 | 梅村 実菜 |
| 4位 | 2年 | 2組 | 須田あかり |
| 5位 | 2年 | 3組 | 沼澤身佳子 |
| 6位 | 1年 | 1組 | 石部 愛奈 |
| 7位 | 1年 | 3組 | 加藤 萌 |
| 8位 | 3年 | 4組 | 吉沼 侑貴 |
| 9位 | 1年 | 1組 | 吉野 静 |
| 10位 | 1年 | 2組 | 清野 咲歩 |

中等部男子トップ10 (16.1km)

- | | | | | | | | |
|-----|----|----|-------------------|-----|----|----|------------------|
| 1位 | 3年 | A組 | 野村 浩輔
(1時間22分) | 1位 | 2年 | B組 | 三須 優香
(2時間2分) |
| 2位 | 3年 | A組 | 鈴木 怜 | 2位 | 2年 | B組 | 池田 実樹 |
| 3位 | 2年 | A組 | 掛川 慶大 | 3位 | 3年 | A組 | 加藤 里紗 |
| 4位 | 2年 | A組 | 椎名 汐芽 | 4位 | 3年 | B組 | 青木彩也香 |
| 5位 | 1年 | B組 | 野田 翔平 | 5位 | 2年 | A組 | 富永悠記子 |
| 6位 | 3年 | A組 | 森井 啓貴 | 6位 | 2年 | A組 | 黒木 花菜 |
| 7位 | 2年 | B組 | 高橋 恵央 | 7位 | 3年 | B組 | 渡邊 真由 |
| 8位 | 3年 | B組 | 大谷 拓摩 | 8位 | 2年 | A組 | 加藤みなみ |
| 9位 | 2年 | B組 | 大阿久 歩 | 9位 | 2年 | B組 | 渡邊 春美 |
| 10位 | 3年 | B組 | 前田 哲平 | 10位 | 3年 | B組 | 新倉 彩子 |

中等部女子トップ10 (16.1km)

- | | | | |
|-----|----|----|------------------|
| 1位 | 2年 | B組 | 三須 優香
(2時間2分) |
| 2位 | 2年 | B組 | 池田 実樹 |
| 3位 | 3年 | A組 | 加藤 里紗 |
| 4位 | 3年 | B組 | 青木彩也香 |
| 5位 | 2年 | A組 | 富永悠記子 |
| 6位 | 2年 | A組 | 黒木 花菜 |
| 7位 | 3年 | B組 | 渡邊 真由 |
| 8位 | 2年 | A組 | 加藤みなみ |
| 9位 | 2年 | B組 | 渡邊 春美 |
| 10位 | 3年 | B組 | 新倉 彩子 |



6回目の剛健旅行

高校男子 第1位
鶴田 裕也

3年10組

昨年に続き今年も1位を死守でき、大変うれしく感じます。先生や後援会、嬬恋の皆様、剛健旅行を開催していただきありがとうございました。6年間、剛健旅行が実施できて本当に幸せでした。

剛健旅行は、自分の弱さがはっきりわかる行事でした

た。私はこの剛健旅行で「3時間以内にゴールをする」という目標を掲げていました。しかし達成することができませんでした。原因は、自分に甘えてしまったことです。陸上部の練習で、自分に甘え妥協してしまうことがありました。その少しの妥協が日々積み重なった結果が、今回のタイムでした。これを機に、いろいろなことに対し妥協しないで取り組んでいきたいと思います。

剛健旅行は、この高輪台でしか経験できない貴重な行事です。前向きな気持ちで取り組んでください。完歩率が100%になってくれればと思います。そして、また陸上部が1位になってほしいです。



それっ、最後のダッシュ



暗闇を駆け抜ける高校男子



足湯で疲れがとれます

豚汁ごちそうさま!



夏休みの活動報告

歴史をぬりかえた瞬間

ダンス部部長 滝沢 里奈

3年8組 墨田区立吾嬬第二中学校出身

昨年度末のUSAという大会では、地区大会・全国大会共に沢山悔しい思いをしました。しかし、今回の全国高等学校ダンスドリル選手権大会では、Hip Hop 男女混成Small部門で初優



勝を果たすことができました。3年生として、最後の大会で待ち望んだ結果が出て本当に良かったです。この優勝は、先生方や後輩、友達、保護者の方々の応援、そしてメグ先生の存在があったからこそその結果です。きっとメグ先生も天国で喜んでくれていること思います。そして、3年生13人で色々なことを乗り越え、培ってきたチーム力で掴んだ優勝です。私は、このHOP BOOTYというチームを誇りに思います。

私たちは部門での優勝を果たしましたが、後輩たちにはもっと上を目指して欲しいと思います。私たちを抜いてくれると信じています。ここからダンス部の歴史をどんどん更新していくことを願っています。現在、私たちダンス部は、建学祭に向けて更に気合いを入れて練習しています。皆様が楽しめるよう全力を尽くして活動していくので、今後ともダンス部を宜しくお願いします。

寺です。

軽音楽部 飯島 隆人

3年2組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

まずは、感謝の気持ちを述べさせていただきます。僕らのバンド「寺」は高輪台初の都大会グランプリ、関東大会奨励賞を頂くことができました。軽音楽部の最高の仲間たち、顧問の先生方、保護者の方が支えてくださったからここまでくることができたのだと思います。ありがとうございました! 関東大会でグランプリがとれなかったのは、本当に悔しくて涙が止まりませんでした。しかし全力で演奏し、全力で「寺」の音楽をぶつけたので悔いはありません。審査員に受けることを目的とした音楽は作りたくないし、やりたくない音楽をやって絶対になにも伝わらない。だから「寺」は自分たちの信じた音楽を全力でぶつけて勝負しました。その結果、関東大会では奨励賞でしたが、全力でロックしたことには意味があるのだと思います。そして工藤、山本、大野という素晴らしいメンバーと、仲間たち、顧問の先生方で一緒に残したこの結果を誇りに思います。これから軽音楽部に期待していてください。



118人とともに

野球部主将 渡辺 謙

3年1組 横浜市立老松中学校出身

大会結果		
3回戦 対 朋優学院	5-4	
4回戦 対 足立学園	10-7	
5回戦 対 都立小山台	2-4	



春季大会では、あと一歩で帝京高校に負け、悔しい思いをしました。しかし、高輪台高校野球部としては初の関東大会出場を果たしました。春準優勝ということもあり、初の甲子園出場を大きく期待された夏は、ベスト16という結果で終わりました。悔いが残らないと言ったら嘘になりますが、スタンドの仲間たち、父母の方々全員が一つになって野球をすることができたのでよかったです。

主将として振り返ると、やはり1番思い出されるのが冬の期間練習させてもらえたことです。この期間私は正直、野球を辞めたいと思うこともありました。しかし、野球をやりたいという気持ちが強かったので、この期間を乗り越えてから、私だけではなく、チーム全体が野球ができるありがたみを改めて知ることができ、練習に対する態度が大きく変わりました。今思えば、この出来事があったからこそ春の準優勝につながったのだと思えたので、無駄な期間ではなかったのだと思います。ここまでやってこられたのも、野球以外の細かいところまで指導してくださった、監督、部長、スタッフの方々、両親に感謝し、1番は主将の私についてくれた118人には本当に感謝しています。後輩にはこの悔しさをバネに甲子園に行ってほしいと思います。今後も野球部の応援をよろしくお願いします。

第4回 中等部体育祭開催

体育祭を終えて

体育祭実行委員長 金子 萌香

3年B組 横浜市立子安小学校出身

私は今回の体育祭が今までで1番のものだと思いました。なぜならみんなで協力し合って最後までやりとげる事ができ、誰1人マナー違反する人がいなかったからです。みんなが協力してくれたおかげで、とっても素晴らしい体育祭になりました。

中等部体育祭史上、初めてアリーナ開催だったため、残念ながらなくなってしまった競技もありました。しかし3年生にとっては最後の体育祭でしたが、1人1人の心に残る思い出になったように思います。1、2年生はより良い体育祭を作れるように、来年も積極的に頑張ってください。来年は晴れて、埼玉の広いグラウンドで伸び伸びと赤組と白組、対決してほしいと思います。

そして、第4回中等部体育祭実行委員長になれたこと、皆さんとの協力に感謝します。ありがとうございました!!



2年A組の入場行進(行進賞を受賞)



選手宣誓



組体操



部活動リレー(運動部)



3年おんぶ、2人3脚走



肩組競走

ボール運び競走



大縄とび

上がりすぎた応援

紅組応援団長 遠藤 岳

3年A組 品川区立原小学校出身

僕は今年応援団員になりました。しかも団長に!応援団が結成されて、いよいよ練習が始まりました。ダンスや曲を決めるのが本当に大変でした。練習の開始の時期が遅れたせいか練習時間が短く、本番間際になって決めたこともたくさんありました。しかし、他の応援団員が助けてくれたおかげでダンスや曲が決まりました。その協力が本当にうれしかったです。

いよいよ本番になりました。完璧とはいかなかつたけれど、みんな一生懸命に頑張ってくれました。応援はどんなに声が出なくても、どんなにダンスが下手でも、問題は気持ちだということを応援団を通じて教えてもらいました。本当に今年応援団をやってよかったと思っています。



紅組応援合戦

体育祭を終えて

紅組応援団員 大箭 望

2年A組 川崎市立日吉小学校出身

今回の体育祭は初めて、アリーナで行われました。今年度は紅組応援団副団長をしました。広いさいたまグラウンドで応援したかったので、とても残念でした。でも、競技が始まると応援に一体感が感じられ、場所に関係なく盛り上がったと思いました。先輩方と協力して行った組体操は大成功でした。肩組み競技では保護者席に向かって全力走したのでつっこまないか心配でした。紅組は負けてしまったけれど、僕のクラスは行進賞がされたのでうれしかったです。来年は最高学年になるので、今年の先輩に負けないくらい後輩を引っ張っていけるようになりたいです。

白組の団結力!

白組応援団長 戸原 拓海

3年B組 横浜市立山王台小学校出身

「白組優勝!」と発表された時、うれしさと同時に白組の団結力を実感しました。

僕は、白組の応援団長として白組を盛り上げようと努めましたが、最初はとても成功できるような団結力はありませんでした。自分自身もみんなをまとめていくことが苦手なので、気が重かったのも事実です。しかし、同学年の応援団員の協力により、少しずつ一体感のある応援団になっていました。

そして本番。今までなかなか成功しなかったことも成功し、さらには成果まで出て、達成感を味わうことができました。中等部最後の体育祭で初の白組優勝を收め、団結力を感じ、最後と呼ぶにふさわしい思い出深いものになりました。



白組応援団

協力できたB組

白組応援団員 松本 ゆり子

1年B組 大田区立田園調布小学校出身

この体育祭で、私は大切なことがわかりました。1つ目は、声を掛け合うことです。競技によっては、リズムが大切です。なので「イチ、二」や「ハイ、ハイ」などの『声掛け』が大切になります。それに、大縄では、ひつかかった人がいれば、「なんだよ!」ではなく、「ドンマイ!」という声を掛けることで、プラス思考になって頑張れたのだと思います。2つ目は、協力です。協力という意味は、力を合わせてことにあたるという意味です。1-Bはそれができていたと思います。実際に少し不安だった45人リレー、台風の目は、どちらも勝つことができました。これはやはり協力ができたから、声を掛け合えたから、ということにつながります。だから、これからは、この体育祭で学んだことを生かし、いろいろなことに皆で挑戦したいです。

高校1学年だより

スポーツ大会

高校第1学年のスポーツ大会は6月23日(土)にさいたまグラウンドで行われました。結果は、第1位6組、第2位は4組・7組でした。今回は上位組の感想を載せます。

優勝

今回のスポーツ大会で私たち6組は、すべての競技で入賞し、総合優勝することができました。緊張していた入学式から約3か月たち、クラスの仲も良くなり、楽しくスポーツ大会を行うことができました。私はサッカーとソフトボールとリレーに出場しましたが、最後のリレーはものすごく印象に残っています。スタートは遅れたものの、逆転で1位になりました。この総合優勝とリレーの1位は個々の力だけではなく、クラスで

浅野 舜

6組 三鷹市立第三中学校出身

お互いに支え、励まし合い、信頼すること、チームで団結することで取れた優勝でした。私はこのスポーツ大会で支えること、励まし合うことの大切さを改めて感じることができました。また1月にスポーツ大会があります。そのときはさらにクラスが団結し、良い結果がついてきて良い思い出に残るものにしたいです。

準優勝

今回のスポーツ大会は高校になって初めての大きな行事と言っても過言ではないものでした。内容はサッカーやソフトボール、ドッジボール、そして選抜リレーでした。みんなそれぞれ頑張ってくれたおかげで僕たち4組は総合で準優勝になれました。サッカーでは3位、野球では2位と良い成績を残しました。みんな自分のチームを応援してくれたので力になり、それが準優勝という結果を生んだと思います。今回の準

喜多 陽平

4組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

優勝は先生も含め、46人全員でとったものだと思います。僕は今回のスポーツ大会で、仲間の大切さと友情というものを改めて知りました。みんながいたからこそ、自分が頑張れたと思いますし、助けてくれる友がいるから勝ち取った勝利だと思います。このスポーツ大会でより4組の絆が深まったと思います。ここから積み重ねて1年の終わり頃には最高の4組にしたいです。

準優勝

僕たちのクラスはスポーツ大会を準優勝という形で終わることができました。暑い中頑張った結果が出てうれしいという反面、やっぱり優勝したかったという悔しい気持ちもありました。スポーツ大会委員としては、誰も大きな怪我や病気になることなく、予定通りに終わることができたのが、一番よかつたのかなと思います。僕たちのクラスは、種目決めからなかなか決まりらず、この先どうなるのか、と不安な思いでした。リレー

大田原 俊輔

7組 横浜市立港南中学校出身

の走る順番も当日決めたほどですが、僕の思いとは逆に男子はソフトボールとサッカーで優勝できました。女子は惜しくも入賞ませんでしたが、男子が女子の記録をカバーできていました。最後のリレーでは、みんなで一致団結して走ることができました。僕たちはこれからの行事などで、今回のスポーツ大会以上に一致団結して、最後にみんなで笑って終われるようにしていきたいです。



高校2学年だより

それぞれの感動を胸に…研修旅行①

6月21日から26日まで、研修旅行に行ってきました。6コースとも無事に終えることができ、生徒たちはたくさん思い出ができたことだと思います。今月は3コースの感想を紹介します。

■オーストラリア 研修コース

5組 原田 和恆

葛飾区立立石中学校出身

僕がオーストラリア研修コースを選んだのは、オーストラリアのいろいろな部分が見られると思ったからです。特に僕は海外の建築物や街並みに興味があるので、その部分をじっくりと見たいと思いました。

研修コースでは、メルボルンの中心部だけでなく、郊外に足を運ぶことができ、ゴールドラッシュに関する資料や野生動物の生態など、日本では見られないことを学び、肌で感じることができました。しかしやはり僕が一番興味を持ったのは、メルボルンの中心地にある建築物や街並みでした。東京では中心部となると新しい高層ビルが建ち並び、古くからある建物は大事にされていない印象がありますが、メルボルンでは、確かに新しいビルもあるのですが、それだけではなく古くに建設された歴史を感じさせる建物が共存し、中には現在も利用されているものがあることには驚きました。例えば、クイーンビクトリアという現在はショッピングセンターとなっている建物は、以前はコンサートホールとして町をにぎわせていたそうです。こうした建物が身近にあるというのは、歴史を感じられるうえ、街の良い雰囲気を作り出していく、とてもよいと思いました。東京でもそういったことを取り入れたら、さらに良い都市になるのではないかと感じました。

海外の1つの都市を訪れるることによって、振り返って自分たちの住む東京について考えることができたことは貴重な経験だったと思います。さらに言えば、自分にもっと英語力があれば、海外でも、もっといろいろなことを深く学ぶことができると感じたので、今後はもっと英語の勉強にも力を入れたいと思いました。



■北海道コース

本州最北端の県、青森、そのさらに北にある北海道、たいていの人はこの地を踏むのは初めてだと思います。実際、僕も北海道に行くのは初めてで、緊張と期待に胸を膨らませていました。親の言うことは、僕は昔から北海道へ行きたがっていたらしいのですが、まったく覚えていませんでした。

さて、いざ北海道に着いてみると、想像していたよりも寒くて衝撃を受けました。北海道の広大な自然に感動している間もなく、すぐにバスでの移動。バスの中ではガイドさんの話を聞きながら、東京とはまったく違う景色を眺めながら僕は思いました。「北海道に来たなあ…」と、そのような思いに浸っている間に昼食会場のフィッシャーマンズワーフに到着。海の幸が豊富な北海道で初めて口にする食事、今までに感じしたことのない期待感におそわれ、階段をのぼっていくとそこには、僕は昔から北海道へ行きたがっていたらしいのですが、まったく覚えていませんでした。

■ハワイ ホームステイコース

7組 朝永 風砂

品川区立伊藤学園中学校出身

私は、ハワイのホームステイコースに行きました。ホームステイをしたのは2日間と短い間でしたが、とても楽しく充実した2日間を送ることができました。

初めはとても緊張してしまい上手く話すことができませんでした。しかし、ホームステイ先の方々が、とても優しくわかりやすく話してくださいましたので、少しずつですが緊張がほぐれ、話も弾んでいました。その会話の中で、昨年日本で起きた東日本大震災のことについても出てきました。いろいろな問題がある中で、多くの人が私たちのことを支えてくれていることを改めて実感しました。

また、私はこのホームステイを終えて、たとえ完璧な英語でなくとも、伝えたいという気持ちがあれば、その気持ちをきちんと相手に伝わるということを学びました。そして、もしまたハワイに行く機会があれば、今度はもう少し長くホームステイしたいと思いました。



6組 井村 亮雅

鳩ヶ谷市立鳩ヶ谷中学校出身

たラーメンのクオリティが高くて、今でも記憶に鮮明に残っています。お土産も各地でまったく違うものが売られていて、たくさんのお土産を買ってしまいました。

この研修旅行を通して、日本にまだ残る大自然を満喫することができたことや団体行動などを学ぶことができました。とても思い出に残る研修旅行となりました。多くの方々に感謝したいと思います。



高校3学年だより

スポーツ大会(さいたまグラウンド)

3年生で最後となるグラウンドでのスポーツ大会。昨年は悪天候のためアリーナでの実施を余儀なくされました。当日は微妙な天候ながらグラウンドでの実施が決定! 冷たい風が吹く中、熱い戦いを見せ、持てる力を十分に発揮した3年生! 見事優勝、準優勝に輝いたクラスの喜びの声を紹介します。

優勝 → 1組

思い出の一つ

小村 勇樹

1組 川崎市立京町中学校出身

1組がクラス一丸となって挑んだスポーツ大会。見事に総合優勝することができました。大会前からクラスでは盛り上がり、総合優勝を狙って密かに練習をしている姿も見られました。2年生の時は、雨でアリーナでのスポーツ大会になってしまったため、今回はより一層盛り上りました。私が参加したサッカーは、試合中にも声をたくさん掛け合い、とてもチームワークが良く、全勝することができました。クラスの仲間とやるサッカーは、普段部活動で行っているサッカーとはまた違った楽しさがありました。このスポーツ大会を通して、今まで以上にクラスがまとまったような気がします。そして、私にとっても皆にとっても高校生活の心に残る思い出の1つになったと思います。残りの高校生活の中で1つでも多くの思い出を高輪台で作り、卒業したいです。

準優勝 → 8組

8組最高! 大好き!

滝沢 里奈

8組 墨田区立吾嬬第二中学校出身

今回のスポーツ大会での準優勝という成績は、8組の歴代最高順位で、結果を聞いた時は、聰先生もクラスのみんなも大喜びでした。私が一番心に残っているのは、女子のフットサルです。初戦から順調に勝ち進み、決勝まで上がることができました。決勝戦ではみんな疲れが溜まっているせいか、だんだんと足が止まってしまいました。前半が終わっても0-0のままで、もうあとは気力との勝負というところで8組のチームワークを発揮することができました。守備の場面では全員でフォローし合い、厳しい状況でも笑顔で励まし合いました。また、応援してくれていた子たちも一生懸命声をかけてくれました。その結果、なんと1-0で勝ち、優勝することができました。私は、もちろん優勝したこともうれしかったのですが、8組みんなの温かさに感動しました。プレー中のみんなの真剣な顔と、大きな声援は一生忘れません。この勢いに乗って次は優勝します! 8組最高! 大好き!



作文コンテスト

5月22日、高校3年生にとっては東海大学推薦入試の書類審査の1つである小論文試験が行われました。日時同じくして、中等部でもその予行練習として、作文コンテストが行われました。今年度は『あなたが「幸せ」と感じる時はどんな時ですか』をテーマに50分間で400字の作文に取り組みました。50分間で自分の考えをまとめ、文章にすることは簡単なようで難しいものです。今回グランプリ、準グランプリに選ばれた皆さんはそれぞれの思いを400字という文章のなかでしっかりとまとめてくれました。皆さんも他の人の文章や読書を通して書き方を学び、自分の文章に生かしましょう。



1年グランプリ

山田 恵那

1年B組 大田区立入新井第一小学校出身

“友達と一緒に笑っている時”私が「幸せ」と感じる時は、そんな時です。私は、私立の中學に通わせてもらっている。私の周りにはいつも、優しい友達が居る。そんな様々な感じ方が集まって、『幸せ』と感じています。

このように、『幸せ』と感じられるのは親のおかげだと思います。親が、自分の事を産んでくれ、今まで愛情を込めて育ててきてくれたからです。親への感謝の気持ちは、これからも忘れずに持ち続けていこうと思います。

そして、私は「幸福感」を与えてくれる友達にも感謝をし続けて行こうと思います。いつもそばに居てくれて、悩み事も聞いてくれる、心強い味方だからです。私は、そんな友達が大好きだから、友達と一緒に笑っている時に幸せを感じるのである。

私は、このように、『幸せ』と感じさせてくれる人に心から感謝するだけでなく、これからは、自分が『幸せ』と感じさせる側になり、相手に『幸せ』と感じてもらえる存在になりたいと思います。

2年グランプリ

浅野 桃佳

2年B組 大田区立羽田小学校出身

「幸せ」と私が感じる時は、友達や家族、大切な人と互いに笑っている一瞬一瞬です。

友達とは、毎日会ってたわいもないおしゃべりをしています。

でも、そんな当たり前のようにしていることも、よく考えてみれば、とても「幸せ」なのだということに気が付きました。家族だって大切な人だって、同じことだと思います。

この間の東日本大震災のように、いつ自分の友達や家族、大切な人の、たわいもないおしゃべりが、うばわれてしまうのか分からないということも考えると、私が今当たり前のようにしていることはかけがえのない人生で一度しかおとすれないであろう一瞬なんだと感じました。

だから、これからは私の近くで一緒に笑ってくれる人たちと過ごすであろう、かけがえのない一瞬、一瞬を大切にていきたいと思います。

3年グランプリ

松村 拓

3年B組 清泉小学校出身

僕が幸せと感じる時は、食事をしている時です。なぜなら、小学校の時に世界の中には満足に食事ができない国が多くあると習ったからです。それらの国と比べて、日本はかなり恵まれている方の国だそうです。

僕らは毎日必要以上の物を食べることができます。そして、それらをあたりまえのことのように考えてしまっています。

僕らの食事は、1日3食がごく普通ですが、アフリカなどの貧しい国では1日に1食できるかどうか分からぬそうです。

小学校の時に、世界の食事を体験しようという授業がありました。そこで出されたのは小さいロールパン一個とコップ1杯分のスープのみでした。それが1日分だそうです。この体験で、自分らがどれほど恵まれているかが分かりました。

これらのことから、世界では飢えて死んでしまう人もいる中で、毎日あたりまえのように食事ができることは、幸せです。

準グランプリ受賞者

1年 A組 中里 有沙 大田区立道塚小学校出身

2年 A組 小川 美衣 川崎市立西丸子小学校出身

3年 A組 小松 知広 川崎市立井田小学校出身



後列左から：中里さん、小川さん、小松君
前列左から：山田さん、浅野さん、松村君

高輪カップ(卓球)・高輪ウィンドフェスティバル(吹奏楽) 開催

男子 卓球の部

優勝	荒川区立尾久八幡中学校
準優勝	葛飾区立本田中学校
3位	江東区立深川第七中学校

参加校 15校

北区立赤羽岩淵中学校	葛飾区立本田中学校	川崎市立宮崎中学校
板橋区立加賀中学校	品川区立伊藤中学校	横浜市立新田中学校
板橋区立板橋第一中学校	さいたま市立岸中学校	船橋市立二宮中学校
荒川区立尾久八幡中学校	松伏町立松伏中学校	習志野市立第一中学校
江東区立深川第七中学校	川崎市立西中原中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部

女子 卓球の部

優勝	川崎市立西中原中学校
準優勝	横浜市立新田中学校
3位	船橋市立二宮中学校

参加校 8校

江東区立深川第七中学校	私立横浜山手中華学校
松伏町立松伏中学校	船橋市立二宮中学校
越谷市立西中学校	習志野市立第一中学校
川崎市立西中原中学校	
横浜市立新田中学校	



男子優勝 尾久八幡中学校



女子優勝 西中原中学校



高輪台中等部



試合風景

顧問 細田 功

第7回高輪カップ[卓球の部]が、本校アリーナにおいて7月15日(日)に行われました。高校卓球部に所属している部員の母校を中心に、1都3県から男子は15校、女子は8校が集まり熱戦が繰り広げられました。男女とも4チームによる予選リーグを行いその後、1・2位と3・4位のトーナメント形式で試合が行われました。

男子の決勝は、全国大会にも出場経験をもつ尾久八幡中学校が本田中学校を接戦の末、3対2で破り見事、初優勝を果たしました。女子の決勝は、予選リーグでは敗れたものの決勝トーナメントでリベンジを果たした西中原中学校が新田中学校を3対0で破り、男子同様に初優勝を果たしました。

本校中等部は、A、Bの2チームが出場しましたが3・4位トーナメント初戦で残念ながら敗退してしまいました。今回、中等部から卓球を始めた1年生部員も出場しましたが、勝利することはできませんでした。この経験を今後に生かしてくれることと確信しています。

今大会が、各参加校の顧問の先生方ならびに多くの方々のご協力により、無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

吹奏楽の部

参加校 38校

川口市立十二月田中学校	品川区立東海中学校
海老名市立有馬中学校	清瀬市立清瀬第五中学校
習志野市立第七中学校	久喜市立久喜東中学校
世田谷区立尾山台中学校	朝霞市立朝霞第二中学校
川口市立北中学校	川崎市立中野島中学校
横浜市立菅田中学校	葛飾区立立石中学校
	江戸川区立東葛西中学校
	横浜市立金沢中学校
	横浜市立田奈中学校

川口市立青木中学校

葛飾区立常盤中学校

川崎市立平間中学校

板橋区立板橋第一中学校

横浜市立深谷中学校

横浜市立みたけ台中学校

瑞穂町立瑞穂中学校

さいたま市立原山中学校

横浜市立中川西中学校

市川市立妙典中学校

横浜市立中和田中学校

横浜市立富岡中学校

川口市立神根中学校

大田区立雪谷中学校

横浜市立もえぎ野中学校

青梅市立第六中学校

川崎市立野川中学校

横須賀市立大矢部中学校

蕨市立東中学校

川崎市立有馬中学校

川崎市立東橘中学校

川崎市立宮前平中学校

東海大学付属高輪台

高等学校中等部

顧問 畠田 貴生



昨年に引き続き、第4回高輪ウィンドフェスティバルが7月21日(土)に昨年を大きく上回る38校の中学校吹奏楽部の参加により、本校アリーナにて盛大に開催されました。演奏者2072人、保護者の皆様をはじめとする観客の方が1000人を超えて、満員のアリーナで熱気に満ちた演奏が繰り広げられました。5人の講評員の先生方に今後の演奏活動へのアドバイスをいただき、目前に迫った吹奏楽コンクールへの練習に役立てようとしている

中学生の姿が印象的でした。フェスティバルの最後には、本校吹奏楽部のスペシャルコンサートを楽しんでいただき、終演を迎えるました。顧問の先生方から第5回の開催を望む声が寄せられ、早くも定着した感がある素晴らしいイベントとなりました。

2012年度学校運営方針

1 基本的生活習慣の確立

学校生活は、集団行動の訓練の場でもあります。社会に出た場合、50人単位・100人単位で行動する機会はありません。集団において、「時間やルールを守る」、「励まし合う、協力し合う」などの行動は大変重要です。学校では、生徒が毎年3分の1ずつ入れ替わります。3年たてば、3年前とはまったく違ったメンバー構成になってしまいます。その中で徐々に「変化していくもの」と、まったく「変化しないもの」があります。この「変化しないもの」が、それぞれの学校の伝統になっていきます。本校の良き伝統は「礼儀正しさ」、「生徒らしい振る舞い」など、基本的生活習慣にあると思います。これは、学校評価にも表れており「挨拶」、「身だしなみ」については、生徒・保護者・教員ともに高い意識を持っているようです。日頃から、高輪台の生徒であることに自覚を持ち、行動して欲しいと思います。そして、これを良き伝統として後輩に引き継いで欲しいものです。

2 集会時の歌唱指導、話を聞く姿勢の徹底

本校では、入学式・卒業式や毎月行われる朝礼などで「建学の歌」および「校歌」を、全員で歌います。一部ではなく、すべての歌詞を歌います。学校を表現するものはいろいろありますが、校歌もその1つだと思います。随分前に卒業した学校的校歌でも、メロディーを聞けば自然に口から歌詞が出てきます。自分の学校ですから、その歴史を持った校歌を、是非きちんと心を込めて歌って欲しいと思います。7月後半から8月にかけ、甲子園を目指す試合で、自校の校歌を元気良く歌う姿が見られます。熱のこもった歌声は、選手を力づけ、試合の流れを変えることもあります。皆で歌うことにより、心を1つにしましょう。

また、朝礼では毎回、各部主任の先生方から、生徒・教職員・保護者・学校関係者以外の方々などの視点でお話をもらっています。ときには、耳の痛い厳しい話、心温まるほっとする話、じっくりと考えさせられる話など、様々なテーマを取り上げてもらっています。人生には、とても大切な判断をしなければならないときがあります。そんなとき、心を落ち着け、人の話を謙虚に聞く姿勢が重要になってきます。集会や授業などを通して、人の話を聞く姿勢をしっかり身に付け、今以上に自らを成長させ欲しいと思います。

3 安全指導

本校では、後援会や教職員の代表者が学校医と「学校保健委員会」「安全衛生委員会」という2つの会議を行っています。日頃の部活動や授業での怪我の様子、相談室の利用状況、空気・飲料水等の環境の状態など、学校の現状および今後の対策について話し合っています。昨年は、保健室利用者の中で、睡眠時間が3時間以下の生徒が約6%もいました。健康面や安全面を考えると、生徒には十分な睡眠時間を取ってもらいたいと思います。また、最近、本校の部活動も活発に活動するようになり、それに伴い、怪我をするケースも増加してきています。部活動時の生徒の負傷の件数が、全体の件数の約80%にも及んでいます。どうしようもない不可抗力での怪我ものもありますが、本人の不注意によるものもあるようです。常々、各部の指導者に対して、怪我・事故等には十分に注意を払うよう呼びかけています。万全の準備をして練習をすることにより、「安全面の確保」や「技術のレベルアップ」を行っていきたいと考えています。

SSH活動報告

7月23日から2泊3日で、1年SSHクラス40名が科学体験学習旅行をしてきました。見学先は、愛知県の生理学研究所・基礎生物研究所・分子科学研究所、岐阜県の核融合科学研究所、静岡県の東海大学海洋学部清水校舎、東海大学海洋科学博物館です。今年度は、TA(ティーチング・アシスタント)として2・3年生のSSHクラスの生徒6名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。

新しい発見

馬場 言子

1年9組 目黒区立第一中学校出身

私が一番印象に残った訪問先は、1日目に行った生理学研究所という所です。ここでは脳について学びました。その中でも脳と目の関係というのはとても密接だということがわかりました。例えば、反対色というのがあります。これは目で青を見ているとすると脳には青と赤の電気信号が送られていきなり青色から黒色に変わると青の電気信号が弱くなり、黒色は赤色に見えてきます。これを実際に自分たちで実験をしました。このように教えてもらったことをすぐに実験し試すので、とてもわかりやすく理解ができました。また、この旅行は訪問先に行って勉強するだけでなく、プレゼンテーションもたくさん行いました。1回目はなかなかうまくできませんでした。しかし、TAの先輩に教えてもらったり、お互いを褒めあったりしてだんだんとみんながうまくなっていました。普段では学ぶことのできないことを、数多く体験できたのでとても勉強になり、よい思い出になりました。



わからないことをたくさん質問しました
(核融合研究所)

TAとしての科学体験学習旅行

足立 宏義

3年10組 江戸川区立瑞江第三中学校出身

私にとって、3回目となる科学体験学習旅行ですが、楽しみと同時に不安もありました。それは、1年生のプレゼンテーションの成長が見られるのと、自分がうまく指示を出すことができるのかわからなかったからです。しかし、その不安はすぐに打ち消されました。2年生のTAは私たち3年生が少し指示をただけで、てきぱきと1年生に指示を出し物事をスムーズに進めてくれました。この科学体験学習旅行は1年生のSSH活動でのメインイベントです。訪問先で講義や説明を聞き、それについて質問している姿は真剣そのものでした。1年生は夜の学習会やバスの中で、プレゼンテーション能力を磨きました。そして最終日には顔つきも変わり、驚くほどうまくなっていました。

1年生だけでなく、私たちTAにとってもいい勉強になりました。人の前に立って指示を出すというのはなかなかないことです。指示の言い方やタイミングなど、多くのことを考えさせられました。この経験を今後に生かしていきたいと思います。



先輩にアドバイスをもらいながらプレゼンテーションの準備をします

高校1年生は、5月12日(土)に校外活動として東海大学湘南キャンパス見学に出かけました。そこでSSHクラスは午後に行われた金環日食科学実験に参加しました。

金環日食科学実験

堀川 翔平

1年9組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

この金環日食科学実験を通して、特に僕は電気に魅了されました。その中でも印象的な実験が2つあります。1つ目は中学校で必ず習う水素と酸素の化合の実験です。実際に体験できる実験があり、化合した時に水と電気エネルギーが生じ、予想できないほどの光と音で誰もが驚いていました。この実験により金環日食では音は出ませんが、遮光板を通して見る太陽が、どのくらい強いエネルギーを持つのかを改めて感じました。2つ目に、電子レンジで蛍光灯をチンするとどうなるか、という実験です。危険なので家ではできない実験を見る事ができました。結果は、自分の思っていた通り光りました。しかし、なぜ電子レンジの中で光るのか、LEDではどうなるのかなど、多くの疑問が残りました。この実験を通して身近で使っているものの不思議は、まだまだありそうだと感じました。また今後は、光が生じる方法と、金環日食の関係について調べていきたいと思います。

TOKAI キャンパスメッセージ

生命の神秘を解き明かす

生命化学科は工学部の中では比較的若い学科ですが、今年4月で早創設12年目を迎えました。高輪台高校出身者をはじめ多くの学科卒業生が社会で活躍しています。本学科では、複雑で神秘的な生命現象を化学的に理解し、生命科学の領域で活躍する人材を育成することを学習・教育目標としています。授業では、生化学、有機化学、遺伝子工学、食品工学、医薬品工学などの講義科目や実験科目を通して専門知識や技術を学びます。各教員の指導のもと研究を行う卒業研究は、一般的には4年次に履修しますが、生命化学科の特徴の1つとして、本学科では3年次から履修することができます。

ここで、私の研究室で行っている研究を簡単に紹介します。研究の大きなテーマは免疫の仕組みの解明です。私

たちはさまざまな病原体の脅威にさらされています。これに対して体内には免疫が存在し、侵入してきた病原体を排除します。免疫にはさまざまな細胞やタンパク質が働いていますが、抗体もその1つです。抗体は病原体が体内に侵入(感染)してから1週間程度で作られるタンパク質で、病原体に結合します。その結果、補体と呼ばれるシステムが働いて病原体は排除されます。補体は多くのタンパク質から構成されており、病原体に抗体が結合すると、このシステムのスイッチが入ります。その結果、補体のタンパク質の間で連鎖反応が起こり、最終的に病原体に穴を開けます。このように、補体は抗体との協同作業で病原体を排除するのですが、補体は感染初期の、まだ抗体がない時期にも働いていることが近年わかつてきました。これは、病原体に対す

東海大学工学部生命化学科教授 松下 操

る抗体がなくても、病原体表面の構造を認識して補体のスイッチがオンになる仕組みがあるからです。そのスイッチが入る仕組みについては多くの謎があり、私の研究室ではその解明を目指して研究を行っています。研究室には現在3名の高輪台高校出身の学部生が在籍しており、皆さん日々卒業研究に励んでいます。



卒業研究で在籍している高輪台高校出身の3年生 山中紀央子さんと鈴木大吉君

昆虫少年の今、これから

東海大学大学院工学研究科工業化学専攻1年(高輪台高校2008年3月卒業) 五島 正幸

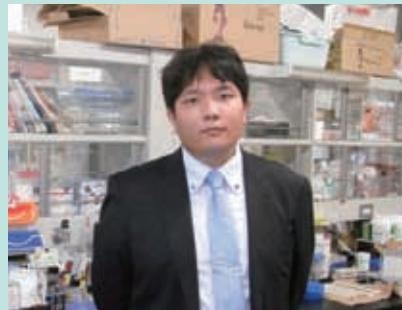
過日、カブトムシの幼虫に由来する新種のタンパク質を見発したことについて、東海大学の公式サイトで取り上げていただきました。この研究は高校時代から続いているものです。在学中は、3年間SSHクラスに在籍し、特に課題実験と課題研究に力を入れ、工学部生命化学科の松下操先生のご指導のもと、研究活動を行いました。

一方、昆虫に対する興味は幼い頃からあり、自称「昆虫少年」です。また、これが今の研究活動の原点でもあります。現在は、大学院工学研究科工業化学専攻へ進学。外研で独立行政法人農業生物資源研究所遺伝子組換え研究センターにて立派な研究者になれるよう努力をしています。

さて、多くの皆さんがあなたの将来の目標へつなげることと思います。その進路選択を行うに際して、どのような方向に適性があるのか、将来は何をやりたいのかを絞り込んで徹底的に調査し、それに向けて中高校生の今しかできないことを精いっぱい努力してください。

また、生命化学科在学中は、高校時代の課題実験、課題研究をさらに深化させるため、基本的かつ専門分野について多くのことを学びました。その集大成である卒業研究を高校時代から引き続き松下操先生にご指導いただき、自ら学び、自らの目で対象と根気よく向き合い行いました。今後もこの姿勢を忘れずに研究活

動に専念します。最後になりますが、どのような進路を選択しても、後にこの選択が正しかったと自信を持って言えるよう、周囲に感謝をしながら、謙虚に努力し飛躍してください。陰ながらではありますが、高輪台高等学校・中等部の皆さんを応援しております。



研究室にて

お知らせ

第11回中等部・高校合同体育祭
9月25日(火) 本校総合グラウンドにて 9:00開会式

最寄駅: JR高崎線さいたま新都心
 ※さいたま新都心駅からグラウンドまでは徒歩約14分です。
 ・品川駅からJR線経由で約45分
 ・泉岳寺駅から都営浅草・JR線経由で約53分
 ・白金高輪駅から東京メトロ南北線経由で約56分

●雨天の場合について
 9月25日(火)が雨天の場合は10月10日(水)が体育祭、
 雨天時は授業日です。
 (9月25日体育祭実施の場合、10月10日は授業日です)

●実施かどうかの最終的な判断は下記の本校ホームページで確認しましょう。
<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/hp/keitai.htm>

●運動靴を忘れずに持参しましょう。



行事予定

September **9**月

- 1日(土) 後援会委員総会
- 3日(月) 朝礼[正制服着用]、避難訓練(1時限) 45分短縮授業
- 11日(火) 中学校巡回 母校訪問(高1)
生徒自宅学習日(中等部・高2・高3)
- 13日(木) 生徒による授業評価アンケート(2回目)
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(火) 前期期末試験(中等部～20日、高校～21日)
- 21日(金) 中等部写生大会(雨天時午前中授業)
- 22日(土) 秋分の日
- 24日(月) 授業日
- 25日(火) 第11回中等部・高校合同体育祭(さいたま総合グラウンド)
雨天時授業日
- 26日(水) 答案返却、専門医によるカウンセリング
- 27日(木) 生徒休業日
- 28日(金) 成績不振者指導
- 29日(土) 保護者会(家庭通知表配布)
- 30日(日) 付属高校生のためのオープンキャンパス(高2 湘南キャンパス)

October **10**月

- 1日(月) 後期始業式[正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(火) 振替休日(高2)
- 3日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 4日(木) 建学祭準備日(～5日)
- 6日(土) 第48回 建学祭(～7日)
- 8日(月) 体育の日
- 9日(火) 建学祭閉幕式 45分短縮授業
- 10日(水) 第11回中等部・高校合同体育祭予備日
- 11日(木) 振替休日
- 12日(金) 高校2年保護者面談開始(～11/16)
- 13日(土) 英語検定(中2・中3、高校希望者)
中等部受験生・保護者学校見学説明会(2回目)
- 17日(水) 金曜日の授業
- 18日(木) 学年集会(中1) 東海大学進学説明会(高1)
- 19日(金) 教育実習(～11/9)
- 25日(木) マナー講座(中1) 学年集会(高1)
- 27日(土) SSH成果報告会
- 28日(日) 高校受験生・保護者学校見学説明会(2回目)
- 31日(水) 木曜日の授業



北海道



オーストラリア



ハワイ



沖縄

編集後記

今年のウナギの値段は、文字通り「うなぎ登り」となった。原因是、未だ生態すら解明されていない稚魚のシラスウナギの不漁だ。これに追い打ちをかけるように、アメリカ政府が「ワシントン条約」によるウナギの国際取引の規制を検討し始めた。これが認められると、7割を輸入に頼るわが国では、もはや庶民が口にすることは望めなくなるかも知れない。このうえは、産卵から成魚までの完全養殖の商業化を海洋学部水産学科に期待したい。ちなみに、今年はまだ食する機会にめぐまれていない。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>